

競技運営に関する連盟取り決め事項

改定 令和7年4月1日

- 大会前の代表者会議には、必ずチームより1名出席しなければならない。尚、欠席の場合は、規律委員会にこの事を計りしかるべき処分を発動することとする。(代理出席可能)
- 登録人員変更及び追加は、練馬区民体育大会兼秋季大会のみとし、大会開催前に連盟に提出承認を受け、事務局長の追認の手続きをとることとする。
- 競技会場の開門は特別の事情がない限り午前9時00分とし、第一試合出場のチームは外野に限り使用できる。第二試合以降は予定時刻の30分前までに来場することとする。
- 次試合のバッテリー投球練習は、審判員の許可を得て前の試合の1時間経過後、捕手はフル装備で本塁側、投手は試合中の投球の合間に投球練習をすることが出来る。
但し、遠投は禁止です。 東台球場：A面2チームはA面の3塁側・B面2チームはB面3塁側
- 試合

	試合	回数	試合時間	特別ルール
春季大会	Cクラス準決勝まで	7回戦	1時間30分	試合時間(※)は回の表開始時、審判が最終回のコールを行った時、そのイニングで試合終了とする。(全試合) 同点の時は1イニングのみタイブレークを行う。(ノーアウト1・2塁で選択打順で行う) それでも同点の時は抽選にて勝敗を決する。・・決勝トーナメントのみ(※)詳細は練馬区軟式野球連盟公式大会規定に従う
	Cクラス決勝	7回戦	1時間45分	試合時間は上に同じ。
	Bクラス準決勝まで	7回戦	1時間30分	Cクラス準決勝までと同じ
	Bクラス決勝	7回戦	1時間45分	Cクラス決勝と同じ
	Aクラスリーグ戦	7回戦	1時間30分	試合時間はCクラス準決勝と同じ。タイブレーク・抽選なし。
	壮年準決勝まで	7回戦	1時間30分	Cクラス準決勝までと同じ
	壮年決勝	7回戦	1時間45分	Cクラス決勝と同じ
※ B・Cクラス・壮年決勝の同点タイブレーク(1イニングのみ)は試合時間終了後でもノーアウト1・2塁、選択打順で行う。※詳細は練馬区軟式野球連盟公式大会規定に従う				
秋季大会	一般準決勝まで	7回戦	1時間30分	試合時間(※)は回の表開始時、審判が最終回のコールを行った時、そのイニングで試合終了とする。(全試合) 同点の時は1イニングのみタイブレークを行う。(ノーアウト1・2塁で選択打順で行う) それでも同点の時は抽選にて勝敗を決する。(※)詳細は練馬区軟式野球連盟公式大会規定に従う
	一般決勝	9回戦	2時間15分	試合時間は上に同じ。
	壮年準決勝まで	7回戦	1時間30分	一般準々決勝までと同じ
	壮年決勝	7回戦	1時間45分	試合時間は上に同じ。
	未登録決勝まで	7回戦	1時間30分	一般準々決勝までと同じ
※ 一般・壮年決勝の同点タイブレーク(1イニングのみ)は試合時間終了後でもノーアウト1・2塁、選択打順で行う。※詳細は練馬区軟式野球連盟公式大会規定に従う				

6. リーグ戦順位決定の取扱要素 (A・B・Cクラス壮年)

- Aクラス・・リーグ戦は勝点方式とし勝点が多い1位チームを優勝とし最下位1チームはBクラスへ降格とする
Bクラス・・リーグ戦は勝点方式とし、Gr1位チームは優勝決定戦(トーナメント戦)を行う、また、Grの最下位チームはCクラスへ降格とする。

Cクラス・壮年・・リーグ戦は勝点方式とし、勝点が多い1位チームがトーナメント戦に進める。

(勝点が同点の時の順位決定要素)

- 対戦相手との勝利結果
- 総得失点差累計値の降順

- 試合は7回戦とし、試合時間は1時間30分とする。(最終回は審判に従う)
- 試合終了時の得点差が7点以上の時勝点3「コールド勝ち」とする。(ローカルルール)
- 勝点は、下記の通りとする。

◎コールド勝ち ⇒ 3点	△引き分け ⇒ 1点	▲双方棄権 ⇒ -1点
□不戦勝による勝利 ⇒ 3点	●敗戦 ⇒ 0点	
○7回戦による勝利 ⇒ 2点	■棄権負け ⇒ -1点	

- 先攻、後攻は試合前に主将によるジャンケンにより勝者が優先的に決定出来る。

7. コールドゲームの適用

- 得点差によるコールドゲームは、7回戦は3回10点差・4回以降7点差とする。
9回戦は5回10点差、7回以降7点差とする。

- 気象条件等によるコールドゲームは、7回戦は4回・9回戦は5回とする。

- 再試合については、総務委員会がスケジュール等の有無を含めてその都度検討する。

9. 東台野球場、球場ルール

- ホームランはA・B面とも、外野ネットを飛球が超えたものとする。
- A・B面とも、打球がゴロで対面のボールデッド地帯(ダッグアウト・水道まわり等)に入ったら全て2塁打とする。(審判の指示に従う) 以上。